

疫病パニック禍において1年ぶりの大会
第23回関東テコンドー選手権大会正常開催！

長引く疫病禍の最中、2020年12月28日、神奈川県立武道館において
第23回関東テコンドー選手権大会が正常に開催され、熱戦が展開されました。



河 明生 会長談

「2019年12月実施の神奈川県大会以来、1年ぶりに大会を開催することができました。

疫病禍ではありますが、日本テコンドー協会の道場内練習で一人の感染者も出ておりません。

JTA門人・会員各自が、通常通り、免疫力を高めるため心身ともに鍛えるべきだと考えます。

なぜなら、日本政府や自治体、感染症対策専門者がまったく当てにならないからです。

(1年の間、彼らの言動は、手洗い・うがい・マスク着用、外出控えろのみ。これは政治、行政等がまったく当てにならないことの証左です)

如何なる病気でもその予防は、十分な睡眠と栄養を取り、ストレスをためないことです。

適切な運動をすればこそ、快適な睡眠と食欲、そしてストレスが発散されます。

皆さんにとって適切な運動こそが日本跆拳道です。がんばルンバ！」

当日、河会長より、試合参加者全員に、チョコレートや菓子がプレゼントされました。

参加選手最高齢のおじさん門人も、大層、喜んでいました。

